

# 公共資産としてのセカンドハーベスト・ジャパン

—2HJの現在地とこれから

2023年10月18日

セカンドハーベスト・ジャパン

フードバンク部 坂本 瑤子

## ◆ 2HJのミッションと3つのキーワード

「サステナビリティ」「ソーシャルインパクト」「コミュニティ」

## ◆ 2HJが大切にしている「コミュニティ」とは

—地域に根差したフードセーフティネットづくり

—ステークホルダーの皆様とともに作るフードセーフティネット

## ◆ 公共資産としての2HJ

## 2HJのミッションと3つのキーワード

「サステナビリティ」 「ソーシャルインパクト」 「コミュニティ」

ミッション

私たちは皆さんと共に、誰もが食にアクセスできる  
フードセーフティネットを創ります

目標

フードセーフティネットの構築

目標の実現のための3つの切り口

ソーシャルインパクト

サステナビリティ

コミュニティ

「コミュニティ」とは

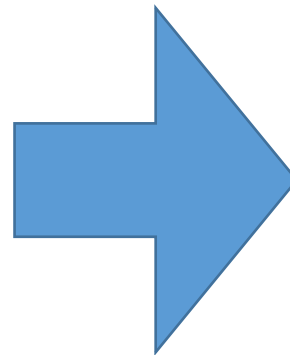
- ①地域に根差したフードセーフティネットづくり
- ②ステークホルダーの皆さんとともにつくる  
フードセーフティネット

①地域に根差したフードセーフティネットづくり

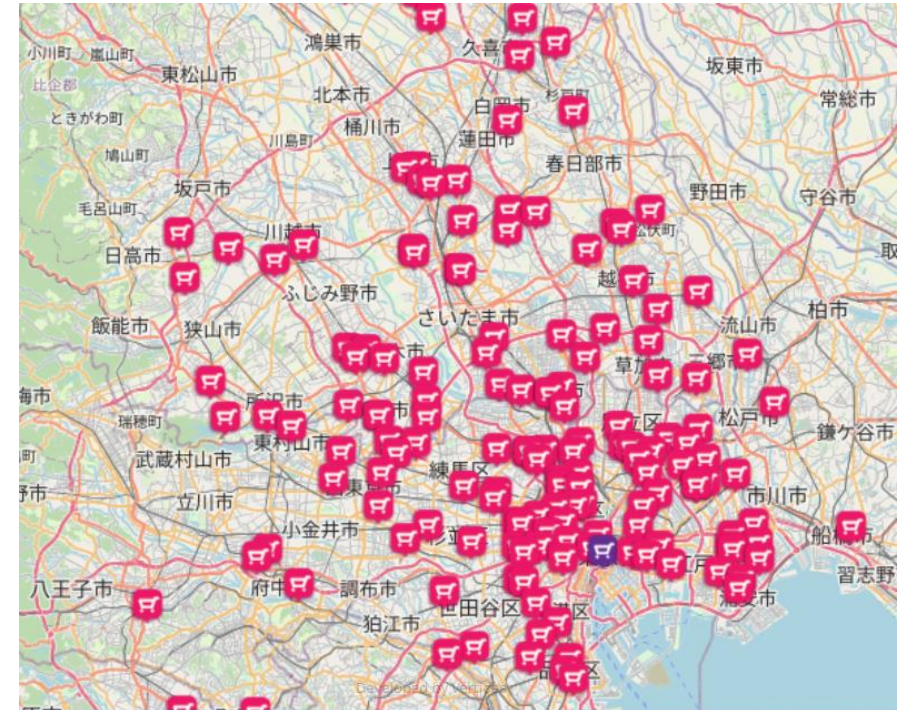
②ステークホルダーの皆さんとともにつくる  
フードセーフティネット

# ①地域に根差したフードセーフティネットづくり ～コロナ前後の取り組み

## ・2016年～ 「東京2020:10万人プロジェクト」



## ・2020年～ フードパントリーの急拡大



「地域のフードセーフティネットの担い手」として、生活にお困りの個人・世帯へ食品を配付する「フードパントリー」の普及を目指すプロジェクト。

2016年～の啓発活動が奏功し徐々にフードパントリーは増えていったが、コロナを機にさらに加速。現在関東で約240か所のフードパントリーへ食品を供給。



# ①地域に根差したフードセーフティネットづくり ～現在の取り組み

## ・2023年～ marugohan(2hjパントリー) コロナ仕様から平常運営へ



コロナ禍を受けての「緊急対応」として、多い日は1日に300人超もの人が利用したmarugohanを、今後の発展も見据えて平常運営へ。

### 新たな取り組み「モバイルパントリー」



marugohanの利用を終えた人などを対象に、地域の中で食のアクセスを実現する場。

\* 2023年9月より試験的に開始。

反響大きく今後も実施予定。

# ①地域に根差したフードセーフティネットづくり ~これからの取り組み

・関東エリアでの実績を踏まえ、全国のフードセーフティネットづくりへ。

2HJのネットワークを生かして集まった寄贈食品を  
全国の必要なところへ供給する仕組みの強化、  
「フードパントリー空白地帯」へのフードパントリー普及を目指す。

## ■2Hフードパントリー NEW!

2HJと、現地のフード  
バンク団体  
「セカンドハーベスト  
沖縄」との協業にて、  
2023年11月より  
スタート!

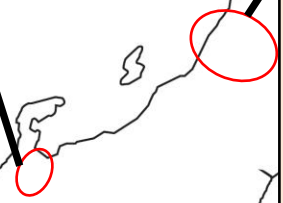
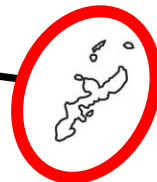
## ■高岡市母子寡婦福祉会

2021・22年度にトナミ運輸様・市役所・市  
社協協力のもと年1回の開催。



## ■山形県ひとり親家庭福祉会

2022年より、2か月に1回フードパントリー  
を実施。毎回2hjより食品提供。

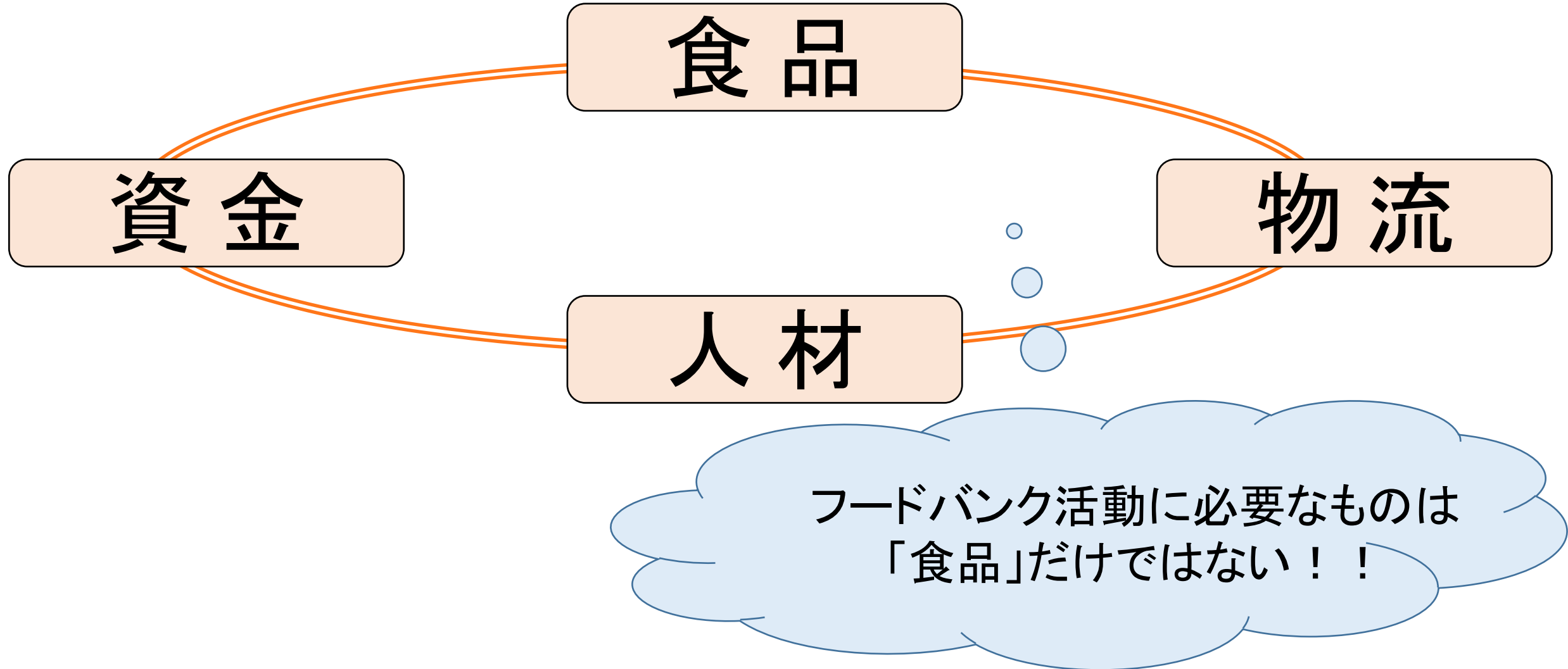


①地域に根差したフードセーフティネットづくり

②ステークホルダーの皆さんとともにつくる  
フードセーフティネット

## ②皆さんとともにつくるフードセーフティネット

- ・フードバンク活動を構成する要素



## ②皆さんとともにつくるフードセーフティネット ～参加の事例

食品の寄贈



資金のサポート



運搬・倉庫のサポート



フードドライブ



ボランティア参加



車両管理のサポート



自販機・寄付金つき商品



様々な立場から、様々なご支援・ご参加をいただいて  
この活動は成り立っています

# 公共資産としての2HJ

# 社会のなかでフードバンクの期待される役割

食品生産者側

余剰食品の  
有効活用における  
受け皿としての期待



福祉団体・  
生活困窮者側

フードセーフティネット  
を支える  
食品供給への期待

「余剰食品の受け入れ機能」、「地域の食を支える機能」両面においてフードバンクが社会から期待される役割は高まっている。

一方で、多くの団体が寄付頼みや手弁当で活動している状況。

安定的な運営のための自助努力と同時に、「フードバンク」に対する公的な意味づけやサポートも重要になってくる。

セカンドハーベスト・ジャパンは「公共資産」と呼ばれるにふさわしい責任ある活動を今後も展開していきます。  
皆にとってよりよい社会の実現を、一緒に目指していきましょう！

Food for all people すべての人に、食べ物を。



ご清聴ありがとうございました